

平成12年10月30日

各 位

会 社 名 株式会社テクノ菱和  
代表者の 取締役社長 林 昭八郎  
役職氏名  
(コード番号 1965 東証第2部)

問い合わせ先 専務取締役 田村邦彦  
電話番号 03-3403-9865

#### 中間、通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成12年5月22日に発表した平成13年3月期（平成12年4月1日～平成13年3月31日）の中間・通期業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

#### 1. 平成13年3月期中間業績予想数値の修正（平成12年4月1日～平成12年9月30日）

（単位：百万円、%）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想（A） (平成12年5月22日発表)	23,700	180	620
今回修正予想（B）	24,670	710	450
増減額（B - A）	970	530	170
増 減 率	4.1	294.4	27.4
前期(平成12年3月中間期)実績	20,165	851	347

#### 2. 平成13年3月期通期業績予想数値の修正（平成12年4月1日～平成13年3月31日）

（単位：百万円、%）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想（A） (平成12年5月22日発表)	56,600	1,860	170
今回修正予想（B）	60,000	2,000	300
増減額（B - A）	3,400	140	130
増 減 率	6.0	7.5	76.5
前期(平成12年3月期)実績	52,744	1,407	476

3. 平成 13 年 3 月中間期連結業績予想数値の修正 ( 平成 12 年 4 月 1 日 ~ 平成 12 年 9 月 30 日 )  
 ( 単位 : 百万円、 % )

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 ( A ) ( 平成 12 年 5 月 22 日発表 )	24,600	180	640
今回修正予想 ( B )	25,400	680	570
増 減 額 ( B - A )	800	500	70
増 減 率	3.3	277.8	10.9
前期(平成 12 年 3 月中間期)実績	-	-	-

4. 平成 13 年 3 月期連結業績予想数値の修正 ( 平成 12 年 4 月 1 日 ~ 平成 13 年 3 月 31 日 )  
 ( 単位 : 百万円、 % )

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 ( A ) ( 平成 12 年 5 月 22 日発表 )	58,500	1,900	170
今回修正予想 ( B )	62,000	2,000	300
増 減 額 ( B - A )	3,500	100	130
増 減 率	6.0	5.3	76.5
前期(平成 12 年 3 月期)実績	54,254	1,422	475

5. 修正の理由

( 1 ) 中間業績

当中間期の売上高は、上半期の工事受注高が IT 関連、薬品・食品関連のクリ - ンル - ムを中心に計画値を大幅に上回る状況( 計画 266 億円、実績 308 億円 )となり、この中に占めるライン更新等の短工期案件の増加にともない完工工事高は前回発表予想数値から増収となりました。

経常利益は、当中間期から上半期費用の一部を下半期に繰り延べる会計制度の廃止に伴い 532 百万円の減益要因が生じましたものの、上記の増収要因および完工工事利益率の上昇により予想値を上回る見通しとなりました。

中間純利益は、退職給付債務の積立不足の一括償却に伴い 2,211 百万円を特別損失に計上し、その対応として退職給付信託設定益 1,085 百万円を特別利益に計上いたしました結果、450 百万円の赤字となる見通しとなりました。

( 2 ) 通期業績

通期の業績につきましては、総受注高は577億円（前年比41億円増、7.7%増）を見込んでおり、売上高、経常利益および当期純利益は、上半期の受注増により增收、増益となる見通しであります。

### （3）連結業績の修正理由

当中間期の業績につきましては、売上高、経常利益とも上記要因を主な修正理由とするものです。中間純利益は、連結子会社分の退職給付債務の積立不足額185百万円を、前回発表時においては5年間で均等償却する予定でしたが、今回連結発表会社と同様に一括償却を行なったため、570百万円の赤字となる見通しであります。なお、通期の業績につきましては、各項目とも上記要因を主な修正理由とするものです。

以上